

薬用作物栽培の事例

平成 29 年 3 月

福岡県農林業総合試験場

はじめに

薬用作物は、冷涼な気候や日陰～半日陰を好むものが多く、国内ではこれを原料とした生薬の需要が高まっています。さらに主要輸出国である中国産の生薬価格が上昇していることから、薬用作物の国内生産の拡大が強く期待されています。しかし、これまで本県への導入事例は少ない状況です。

このため、福岡県農林業総合試験場八女分場では、薬用作物等の産地化に向けた基礎情報を得るため、栽培に関する文献情報等から県内で生産の可能性を評価し、さらに、製薬メーカー等の流通情報と九州内における栽培事例等をもとに、本県中山間地域に導入可能な有望品目の選定を検討してまいりました。

本資料は、こうした検討結果をとりまとめ、薬用作物の導入を検討する際の手引きとして作成しました。薬用作物の産地化を目指す皆様に、広くご活用いただければ幸いです。

目 次

1	有望な薬用作物の用途・効能	1
2	栽培事例	
(1)	ミシマサイコ	2
(2)	トウキ	4
(3)	カノコソウ	6
(4)	オウレン	8
(5)	トチバニンジン	10
(6)	ムラサキ	12
(7)	アカネ	14
(8)	クララ	16
3	薬用作物関連URL	18

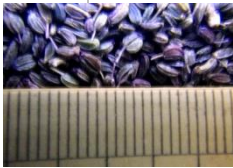


有望な薬用作物の主な用途・効能

ミシマサイコ	解熱，強壯
トウキ	補血，強壯，血行障害，鎮痛，鎮静
カノコソウ	鎮静薬
オウレン	止瀉整腸，苦味健胃等
トチバニンジン	健胃，鎮咳，去痰，強壯
ムラサキ	消炎，解毒，解熱，皮膚疾患（腫瘍，火傷，凍傷，湿疹，痔疾）
アカネ	通経，浄血，解熱，強壯
クララ	健胃薬，消炎止瀉薬，寄生性皮膚疾患（たむし，水虫など）などに煎液を外用。漢方では解熱，利尿，駆虫

(独)医薬基盤研究所 薬用植物資源研究センター
の「薬用植物総合情報データベース」による。




ミシマサイコ

生薬名：柴胡さいこ

月	1			2			3			4			5			6		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育と管理	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基肥</div> <div style="text-align: center;">1年目</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">追肥</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">追肥</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">は種</div> <div style="margin: 0 10px;">○</div> <div style="margin: 0 10px;">—</div> <div style="margin: 0 10px;">○</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>種子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本葉出葉時</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5月</p> </div> </div>																	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">2年目</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">追肥</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">追肥</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">摘心①</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> 収穫 </div>																	
特性と管理	<p>特 性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生薬部位：根 ・浅根性であり、6月から急速に伸長して抽台開花し風で倒伏しやすくなる。 <p>栽培適地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風が当たりにくく、日当たりと排水性が良く膨軟な土壌。 ・連作を嫌うため、5年以上休作する。 <p>基 肥(10a 当たり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛糞堆肥 2 t、炭酸苦土石灰 120kg ・油粕 50kg、苦土重焼燐 20kg、CDUs555 を 40kg <p>播 種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本ぽ 10a あたり種子 2 リットルを準備。 ・畝幅 150cm で厚めに 4 条すじ播きし 5 mm 覆土して軽く鎮圧、切りワラ等を散布。 									<p>管理・除草</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種後 1 か月頃から出芽。 ・出芽前から間引き時期に適宜除草。浅根性のため、根への悪影響防止のため早めに除草する。 ・葉長 3 cm 頃から密生部間引きを 2～3 回行い、梅雨明けまでに株間 5～10cm にする。株数 26,000～53,000 株/10a。 <p>追 肥(10a 当たり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生長促進効果が大きい。 ・4～9月に 4～6 回、窒素成分を 2～3 kg 目安で毎回施用。 								

セリ科多年草

学名 : *Bupleurum falcatum*

7			8			9			10			11			12		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
追肥			摘心①			追肥			摘心②			追肥					
 <p>着蕾時期</p>						 <p>抽苔開花時期</p>						 <p>収穫した1年生株の根 (青線は20cm間隔)</p>					
追肥			摘心②			追肥			摘心③			追肥			採種		
												収穫					

摘心

- 根の生育促進のため、花芽を切除。
1回目：7/下～8/上に高さ40cmで切除
2回目：8/下～9/上に高さ50～60cmで切除
- 2年生株は夏に伸長して倒伏しやすくなるので、6月頃から2～3回、高さ40cmで摘心。

採種

- 2年生株で11月頃に行う。
- 千粒重は1.3～1.5gである。

病害虫

- 害虫：センチュウ、アブラムシ(着蕾時期)
- 病害：根朽病(連作・排水不良・過剰施肥で発生、複数種の病原菌、強伝染性、土壌消毒で対応)、炭そ病、白絹病、黄化萎縮病

収穫

- 2年生株を収穫する。1年生株も収穫可能であり、収量は2年生の約半分である。

調製

- 茎付きのまま掘り上げて、根を水洗して小束にしてハウス内等で陽乾。または、最初に茎を高さ5cmで切り落としてから掘り上げ、根を洗い、広げて乾燥。
- 乾燥前に茎を切除し、半乾燥時にひげ根をもみ落とす。

収量

- 乾燥根収量：100～150kg/10a(事例)